パームチェックの簡易判定表

（SCD または SCD-LP 寒天培地）

清　　潔

軽度の汚染

汚　　染

重度の汚染

株式会社日研生物

STAMP MEDIUM

パームチェック 使用説明書

PALM CHECK　　環境微生物検査用培地　／　一般細菌用

(1)手のひら、全体に付着している細菌および真菌類の汚染頻度を簡易に検査できる。
(2)使用操作が非常に簡単である。

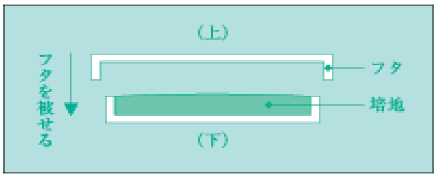
ご使用前の確認事項

(1)未開封の状態で培地表面に雑菌が生えていないか、または破損はないか。
　→ 万が一、不具合のあった場合は交換をさせていただきますので弊社までご連絡をお願いします。
(2)培地表面が濡れていないか。(急激な温度差が生じた場合に水滴が発生する場合があります。)
　→ 培地表面が濡れている場合は、正確な検査ができない場合がありますので、下記の方法で培地を乾燥させてください。
　※ 容器の蓋のみに大きな水滴が付いている場合は、水滴が培地に落ちないよう注意しながらアルコール綿などで蓋の水滴をふき取ってください。
　【培地の乾燥方法】
　・孵卵器がある場合・・商品を袋から取り出し、容器の蓋を下にした状態で37℃の孵卵器に15分程度入れる。
　・孵卵器がない場合・・商品を袋から取り出し、容器の蓋を下にした状態で常温に30分程度放置する。
　　※ ただし、必要以上に乾燥させると培地の水分が蒸発し、性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。

使用方法

(1)蓋を開け、ストッパーの位置(約45度)まで戻します。
　　※落下菌の混入を防止するため。
(2)検査する手のひらを培地表面に密着させ、手形をとる要領で培地が割れない程度に押し付けます。(目安は1.5kg以内㊟)
(3)蓋を閉めて包装袋に戻し、蓋が上の状態で培養を行います。
・一般細菌‥孵卵器がある場合は、30～35℃で24～48時間培養。
　　(孵卵器がない場合は、25℃前後で3～5日間培養。)
・真菌‥‥‥25℃前後で3～5日間培養

培養状態



㊟1.5kgの重量感覚を体得するには、あらかじめ上皿秤の皿に直接手で加圧して(培地を秤に乗せる必要はありません。)目盛りをご確認いただくことをお勧めいたします。

判定方法

(1)培養期間中は適宜、発育コロニーの有無を観察します。
(2)培養期間が過ぎても、発育コロニーを認めない場合は陰性と判定します。
(3)スタンプした以外の場所に発育したコロニーは、室内の落下菌と判定します。

保存方法

●SCD・SCDLP寒天培地・・・暗所保存(10～30℃)
・直射日光や照明などがあたらない場所で保管してください。
・急激な温度変化で水滴が発生する場合がありますので、なるべく温度変化の少ない場所で保管してください。

廃棄方法

◎使用後は必ず次のいずれかの方法で滅菌・消毒処理を行ってから廃棄してください。
●オートクレーブ滅菌(121℃で20分以上。※専用の滅菌袋を使用してください。)
●煮沸滅菌消毒(30分以上)
●0.1%次亜塩素ナトリウム溶液(60分以上浸ける)
●サラシ粉(3ｇを水10Lでよく溶かして一晩浸ける)

【容器印字略語】　ＳＣＤ寒天培地 → ＳＣＤ　／　ＳＣＤＬＰ寒天培地 → ＬＰ

◎ お気づきの点やご要望がございましたら、下記にご記入をいただき FAXをお願い致します。
ご購入商品にチェックをしてください →　☐ ＳＣＤ寒天培地　☐ ＳＣＤＬＰ寒天培地

ご施設名　　　(ご部署名)　　　ご氏名

ご住所　〒

TEL：　　　FAX:

製造販売元 株式会社 日研生物
〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺堤外縁23　TEL：075-631-6187 ／ FAX ：075-632-0367

2022.12